各地域審議会の審議内容（発言要旨）

参考資料

第２３回地域審議会（H25.1.21～25　各地域開催）

１．審議事項

■八代市総合計画後期基本計画について（全地域）【企画政策課】

地域	委員	事務局
八代	・外部の諮問委員会のようなものが作成もとになっているのか。 ・国・県の施策との整合は取れているのか。 ・議会関係者はこのことを知っているのか。	・総合計画の策定審議会という諮問機関に市長から諮問させてもらい、一回目の審議を開催したところである。 ・県の４カ年戦略との整合性も含めたところで、県の振興局を通じて素案の内容の確認をしてもらっている。また、各課それぞれの部局において上位計画との整合も図りながら作成している。 ・議会には中間報告を行う。基本構想は１０年間の議決を得ているが、前期・後期計画の議決は必要ないため報告となる。
	・策定審議会の答申を受けて議会に最終的な報告をされた後に、２５年度に実施計画を作るということか。 ・重点施策の基本目標を５年後の将来の姿を書いてあるのは、表現の仕方が市民にとっても職員にとっても分かり易いと思う。 ・前期の目標値がいくらであったのかが分かればまだ市民には分かり易かったと思う。	・基本計画に基づいて実施計画を毎年度、毎年度、実際予算が伴った計画は作っていくので、具体的な事業等はその実施計画に基づいて進めていくことになる。 ・成果指標については年度途中で結果が出ていないものもあるので、今後取りまとめて公表する。前期計画の進捗状況については全体で７５％達成と分析している。
坂本	・地域の分け方が防災上（警報発令時）の地区と異なるため、勘違いする可能性がある。	・基本構想のとき地域の方とワークショップを開き地域の課題などを検討した。その基本構想を１０ヵ年継続する形になっているためそのまま３地区を継承した。 ・総合計画上の街づくりの方針としてのエリア分けになる。日常生活圏、土地利用の状況などを基本にして総合計画上は３つの地区の中で南部地域として位置づけている。

「笑顔 de あいさつ」しあわせ発信！八代市

地域	委員	事務局
坂本	・南部地域の現状と課題について、若者は街中まで買い物に行けるが、残された高齢者の生活に対してどのように考えているか。 ・また、バス等交通手段や空家対策も付け加えてはどうか。	・南部地域に限らず市全域の課題として捉えている。南部地域の交通関係では、生活交通確保のため乗合タクシーなど公共交通機関の整備に努めることを上げている。定住促進については市全域の課題として、「定住促進と五カ年の計画」の中で定住化の促進を上げている。
千丁	・地域の特性を活かしたまちづくりの方針の中に、南部に清流・若者とある。具体的にはどのような事があるのか。南部を生かしていくのが大事と考える。	・前期との違いは、スポーツ、観光振興計画を大幅に変え、産業活性化・農商工連携を考えている。
鏡	・計画どおりに行くといいなと思う。	・計画を作っただけで終わらないように、どのように実行されていくかを検証しながら、またそれが次年度の予算に反映されるような仕組みを今回取り入れている。
	・各分野で一生懸命してくださっている中で、私たち住民も一生懸命というのが今まであまりなかったのでは。これは、私たちが本当に一生懸命になってしなければならない。一部の人だけじゃなく。他の方を巻き込んで一緒にするというのが必要ではないか。	・それぞれ個別の事業では、市民の皆さまの意見を聴く機会を設けたいということで、色々な委員会とか審議会とかを立ち上げ、この地域審議会の委員の皆さまにもご協力をいただきながら進めている。計画をたくさん作っただけで目標をたくさん掲げても、大事なのは実行して達成すること。住民の皆さんの意見をいただきながら、市政への関心を高めていただければと思う。
東陽	・後期基本計画体系図の中で情報基盤の整備と書いてあるが、基本目標_重点施策の中には情報基盤の整備の内容の登載がないのはなぜか。	・全ての施策をあげているわけではなく、５ケ年で特に力を入れて重点的に取り組んでいく項目をピックアップして搭載している。ここに記載がないからといって力を抜くということではない。
泉	・泉地域の現状に対し、具体的な策を明記できないか。	・本計画に基づいて実施計画等を立てることになる。これらの策定段階ではご相談できる形もあるので、本基本計画については施策の位置づけと方向性等に誤りがないかとの側面でみていただきたい。
	・前期基本計画の検証はなされているのか。	・前期計画で立てた指標の達成率は、23 年度時点での達成済みのものは約 34%、達成中のものが約 40%、指標よりも後退したというものが約 21%、統計がとれなかったものが 5%となっている。前期の計画期間である今年度終了後、最終的な数値についてホームページ等で公表する。

■八代市住生活基本計画策定に伴う地域の意見について（全地域）【建築住宅課】

地域	委員	事務局
八代	・母子家庭の方から、市営住宅に入りたいが空きがなく待っている状態という話を聞く。本当に必要としている方が優先的に入れるような仕組みづくりが必要ではないか。	・ひとり親家庭には抽選回数を１回増やしているが、空き数が少ないことからなかなか入れない。子育て世代には支援が必要という課題も出てきているので、今後民間との協力ということも含めて検討していきたい。
坂本	・コンパクトシティーとはどのようなものか。 ・また、南部地域の生活に関する今後の課題の中の課題２に坂本にも温泉があるので付け加えて欲しい。	・住居と買い物する場所が離れていないで、歩いて動ける地域。高齢者は運転できなくなると近くで買い物を済ませる事になるため、今後このような街づくりを目指す必要がある。 ・坂本温泉については追加する。
千丁	・資料にある「課題３．民間住宅との役割分担の促進」とは。	・現在、公営住宅は行政が建設しているが、今後はPFI 方式を取り入れ、民間が建設して行政が借り受ける、公営住宅の管理を民間に委託するなどの取り組みや、空室情報の共有化などを行う等を表している。
鏡	・鏡町の河川敷上に無人化している住宅があり、水害の時とか、無人化した住宅の土台等が一緒に流れたり、どう見てもあぶないところが結構ある。そのような誰の資産だかわからないような物を、市の方で少し援助して解体するとか、そういうのはないのか。	・空き家の解体については、持ち主がおられた場合の補助制度となっていて、今年度分は終了している状況。 ・防災上の問題とか色々とあるのかと思うので、これから調べていかねばならない。
	・管理できない空き家を貸したいというところが結構あるのでは。そこを（貸すなどして）使っていただくとよいのでは。	・今回の調査の中では、把握しづらい部分だが、今後、空き家の活用についても考えるべきだといった意見が委員から出ており、対策等を検討したい。
東陽	・空き家の活用というものは本計画ではどう位置づけてあるのか、空き家を活用し地域の活性化へ繋げていくことを地域住民は望んでいるが。	・現在の空き家の情報等についてはまだ掴んでおらず、計画に盛り込んではいない。今後、委員会・作業部会に提案し、ご意見等を計画に盛り込んでいけるよう取り組んでいく。
泉	・泉地域においては急傾斜の崩落が一番懸念される。安心して暮らせる体制づくりを願う。	・本計画策定のための作業部会には防災関連の部署も入っているので、その要望を伝えたい。
	・泉町では高齢化もあり、特に空き家が増加している。火災等が心配されているところもある。今後も増加していくものと思われるが、どのような対策があるのか。	・住めなくなった空家については本年度から解体に係る補助制度を設けている。（本年度は既に予算枠に達した）住める状態の空家については、定住化に向けた対策がとれないものか検討している。

■CS 番組の意向調査と八代市ケーブルテレビ管理運営審議会委員の選任について（坂本・東陽・泉地域）【広報広聴課】

地域	委員	事務局
東陽	・ＣＳ番組の継続・廃止については、アンケートの結果で決めるのか。	・意向調査の結果も踏まえながら、管理運営審議会の中でご審議いただくこととなる。
	・アンケートの回収にあたり、その内容を十分に理解されずに提出されている方々もいらっしゃるので、審議会の中ではその辺りも考慮して審議してほしい。	・承知した。

２．報告事項

■携帯電話エリア整備事業について（坂本・泉地域）【情報政策課】

地域	委員	事務局
坂本	・クレオン温泉センター付近がつながらないと聞いているが、ドコモがつながらないのか。	・各社の電波状況は把握していないが、事務室などでつながりにくいだけで、全体的にはつながらないことは無い。 ・坂本はドコモと au はエリアが広いが、ソフトバンクはつながらない箇所が多い。
泉	・今回の水梨地域が整備されれば、泉管内は全て携帯電話が通じるエリアとなるのか	・国の補助事業で整備する場合、重複しそうなエリア設定はなされないため、どうしても隙間が発生することになる、その際エリア外となる地域については超小型の基地局を宅内に置く装置の活用が図れないか事業者と協議中である。

■八代市保育所民営化等計画について（全地域）【こども未来課】

地域	委員	事務局
東陽	・今後の日程についてはどう考えているか。 ・統廃合の対象となる保育所の選定基準の中で、入園児童数が２０名を下回った場合とあるが、①これは１９名以下ということか。また、②これはいつの時点でとなるのか。③河俣保育園の件で、２０名を上回ったら統廃合の対象から外れるということか。	・出来る限り早い時期にということで考えている。 ・①そのとおりである。 ・②年度の募集をした時期で考えるということになる。 ・③基準からいくとそうなる。

地域	委員	事務局
泉	・保育園の本園と分園の交流はこれまでなかったので今後活発化してほしい。	・下岳保育園が本園、栗木保育園が分園という形になると思うが、交流促進を図れるよう園長会にも要望する。

■小学校の統廃合について（東陽地域）【学校教育課】

地域	委員	事務局
東陽	・小中一貫連携のモデル校の数は。	・２年目のモデル校が７校、１年目のモデル校が５校、１５校のうち１２校がモデル的に取り組みを始めている。東陽校区は２年目ということとなる。
	・モデル校の中で問題点、課題点は出ているか。	・小中で一緒に何かをやる際の時間の作り方が一番難しい課題。
	・跡地利用の件で、文科省の「みんなの廃校」プロジェクトに登載していくのか。	・情報を広く発信していきたいので本プロジェクトも活用したい。 ・市としてもＨＰの活用などで利活用に対するいい提案を受け付けていきたいと考えている。
	・廃校後の活用については、どのような方法で協議をすすめるのか。	・地元の方との情報共有をしながら進めていきたいと考えている。

■小中一貫・連携教育について（坂本・八代・千丁・鏡・泉陽地域）【学校教育課】

地域	委員	事務局
八代	・校区ごとに特色のある取り組みは大事にしながら進めるのか。	・各地域が地理的状況、歴史的状況を踏まえながらそれぞれの校区に合った取り組みを小中合同で進められており、これは今後も続いていくことになる。
坂本	・学力やいじめの現在の状況は。	・学力、学習意欲については八代市に限らず全国的に厳しい状況。文科省の新学習指導要領では教科書のページを増やしたり、授業日数を増やしたりし学力を保とうとしている。八代市は全国的に平均的な学力である。 ・いじめについては、いじめのアンケートを取りながら早期発見に努めている。 ・不登校については八代市では非常に多かったが、年々減少傾向にある。

地域	委員	事務局
千丁	・連携教育はいいことだ。小中だけでなく、学年も含めて学校全体で取り組んでもらいたい。	・学年間の連携も必要。千丁校区はうまく連携している。
鏡	・鏡には小学校が 4 校ある。校長の数は将来どのようになるのか。	・そのような物理的な面については変える予定はない。 ・今まで、先生たちが一堂に会して研修をする機会がなかった。これからはそういった機会を多くして、小学校と中学校との連携を図っていきたい。
	・泉の場合、一体型ということは、小学生が（歩いて）通うのか。	・スクールバスでの通学を予定している。

■未利用等の市有資産の活用方針について（坂本地域）【生涯学習課】

地域	委員	事務局
坂本	・以前、グランドの譲渡をお願いしたが文科省の財産があるため即答できないということであった。今の時点で廃校を市有財産として認められているのか。それとも文科省の手続きが必要になるのか。	・あくまでも八代市の施設である。土地、建物も八代市の所有権になる。補助金を使った施設は用途変更が厳しく、用途を変更すると補助金返還というシステムがあったが、合併後重複する施設も出てきて、政策的な面から補助金に対する考え方が緩和された。ただし、民間に有償で譲渡した場合、譲渡した部分に投入された補助金相当額を国に返さなければならない。
	・体育館の屋根が落ちたりして、危険な施設もあるため事故が起きる前に対策をとってもらいたい。	・そういった実態の施設もあると認識している。学校廃校跡地については今後検討していく必要を感じている。